

令和2年度 第2学年 書写 年間指導計画

月	題材名	目標	時数	評価規準	主な評価方法			
					テスト	ノート	提出物	観察
4	点画の省略	行書の特徴である点画の省略を理解して書くことができる。	3	関知技 ・楷書と比較し、点画が省略されている部分を主体的に見つけようとしている。 ・点画が省略される理由と、主な省略のしかたを理解している。 ・筆脈を意識し、点画の省略のしかたに注意して行書を書いている。			○	○
5	筆順の変化	行書の特徴である筆順の変化を理解して書くことができる。	3	関知技 ・楷書と比較し、筆順が変化している部分を主体的に見つけようとしている。 ・筆順が変化する理由を理解している。 ・筆脈を意識し、楷書とは異なる筆順で行書を書いている。			○	○
6								
7	行書の練習	行書の部分の書き方を覚えて、その部分をもつ漢字を書くことができる。	2	関知技 もつ他の漢字に生かそうとしている。 ・点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化を理解し、それらを含む部分の書き方を覚えている。 ・点画の方向や形の変化、点画の連続・省略、筆順の変化に注意して、その部分をもつさまざまな漢字を書いている。			○	○
9	行書と仮名の調和	行書と仮名の調和を意識して書くことができる。	3	関知技 ・楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。 ・行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解している。 ・行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。			○	○
10	行書に調和する仮名	行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。	3	関知技 ・行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。 ・行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解している。 ・筆脈と筆圧の変化を意識し、点画の方向や形の変化、点画の連続に注意して「いろは歌」を書いている。			○	○
11	行書と仮名のまとめ	これまでに学習したことを生かして、行書とそれに調和する仮名で文章を書くことができる。	2	関知技 ・行書とそれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。 ・行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴を理解している。 ・行書の字形の整え方を理解している。 ・行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴、文字の大きさと配列に注意し、行書と仮名を調和させながら文章を書いている。			○	○
12	楷書と行書の使い分け	目的や必要に応じて、楷書か行書かを洗濯して書く必要があることを理解することができる。	2	関知技 ・掲示された場面において、楷書と行書のどちらで書くのが適しているか、主体的に考えようとしている。 ・目的や必要に応じて楷書か行書かを洗濯して書く必要があることを理解している。 ・楷書と行書、それぞれの特性を理解した上で、目的や必要に応じて適切な書体を洗濯し、書き分けている。			○	○
1	[コラム] 季節のしおり2	これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。 季節にまつわる詩歌や言葉など、伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。	2	関知技 ・これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに、興味をもって取り組んでいる。 ・これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）を理解している。 ・これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。			○	○
2								
3								
総時数			20					